

チベットで見かけた怪しげなアイスマウン ド



写真は 1994 年 6 月にチベット高原の西藏公路沿いのピングオ地帯で撮った物で、グラウンドアイシングと考えられます。グラウンドアイシングは、凍土地帯で地表に湧水の池があるところに形成され、冬季は池自体が凍結し、春になり湧水の温度の上昇とともに氷面上に湧水が現れ、その凍結面積が広がっていく現象です。シベリアなどでよく見ることができます。一般にグラウンドアイシングは平らな氷面を形成しますが、チベットで見つけたこのグラウンドアイシングは中空のドーム状の物でした。この中空状のグラウンドアイシングがどのような過程で形成されたかに関してはよくわかっていません。

矢吹 裕伯 会員(地球フロンティア研究システム)撮影
